

The Photonics Pioneer

with  
**santec**

2008年度 **santec**グループ中間報告書

## 株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、当社第30期第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、米国のサブプライムローン問題が拡大し、世界の金融市場に影響が波及するなど、世界的に景気の減退感が広がりました。

一方で、光通信市場については、フランスで一定規模以上の新築マンションに光ファイバ入線を義務付ける法案について検討されていることが報じられ、日本においては光ファイバ接続の契約者数がADSLのものを逆転したことや、光回線の世帯普及率が10%に達したと見られることが報告されるなど、市場の力強さを感じさせました。

このような市場環境の中で、当社におきましては、当事業年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の基本方針として「生産性向上と原価低減加速による利益改善」を掲げ、「①攻めの提案営業への転換」、「②一步先を行く新製品の創造と拡充」、「③生産能力増強とQDCの更なる強化」、「④内部統制システムの運用と体質の強化」を重点課題として取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,160百万円と、前年同期に比べ42.4%の増加となりました。通信量増大に対応するために光伝送装置向け光部品の需要が引き続き堅調であったことや、開発を重ねてまいりましたOCT（光干渉断層画像）技術に関連して、技術のコアとなる光源装置および干渉光学ユニットのOEM供与を開始したことが業績を押し上げる結果となったものです。

当第2四半期連結累計期間の純利益は208百万円となり、第2四半期連結累計期間（中間期）としては7期ぶりの黒字となりました。

配当につきましては、本年5月に発表いたしました通り、通期15円の見通しで変更はございません。

世界の経済環境は今後ますます厳しくなっていくことが予想されております。光通信市場においては急速な減退はないものと考えておりますが、気を緩めることなく目標の達成に向け、邁進していく所存です。

株主の皆様にも、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

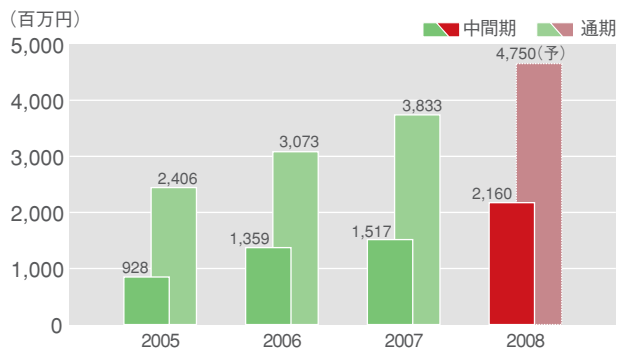
平成20年12月

代表取締役社長

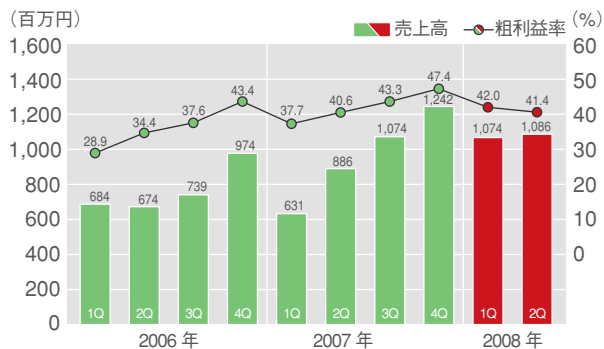
鄭 台 鎬

# 第2四半期業績ハイライト

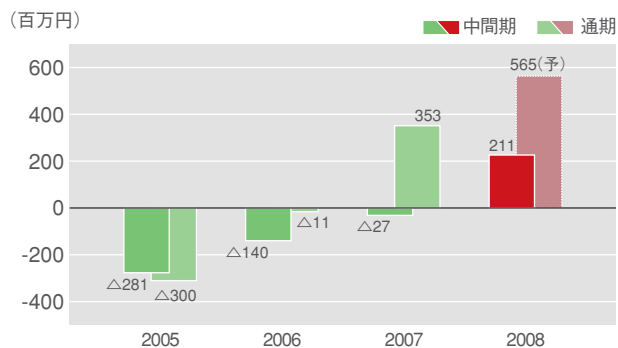
## ■売上高



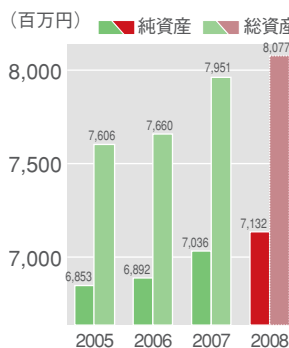
## ■四半期業績推移



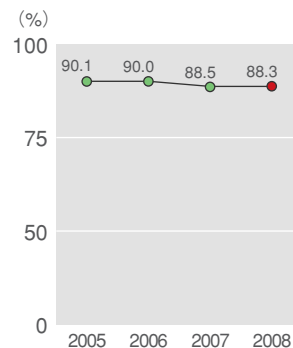
## ■経常利益



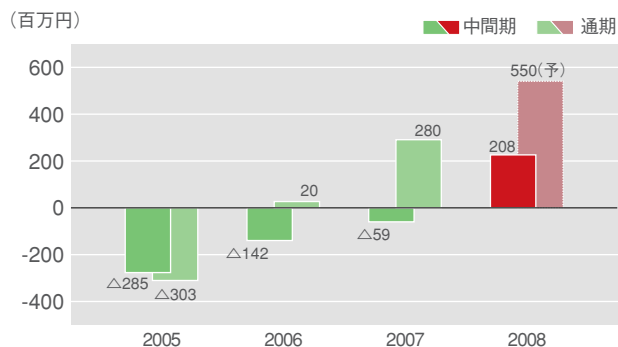
## ■純資産・総資産



## ■自己資産比率



## ■純利益



## 第2四半期業績と今後の業績予想

当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）においては、売上高が前年同期比で42.4%の増加となったことや、原価低減による粗利益率の改善が進んだことに加えて、販売管理費の圧縮などにより、利益が大きく増加いたしました。

通期の業績につきましては、世界経済の減速や金融市場の混乱など、先を見通すことが困難になっておりますが、当初業績予想の実現を目指し、更なる成長に取り組んでまいります。

## トピックス



## 今年も世界各地で展示会に出展しています

本年度における営業活動については、「攻めの提案型営業への転換」を重点課題として取り組んでいます。

何よりも顧客とのフェイス＝トゥ＝フェイスのコミュニケーションを重視し、新しい顧客との出会いは勿論のこと、従前からの顧客との接触の場として、世界中の展示会への出展を積極的に進めています。

本年度も展示会での出会いから新しいリレーションシップ（関係）が生まれ、顧客との新しい取り組みがいくつも始まっています。

## イタリア駐在員事務所が設立されました

当社の主要顧客のいくつかは、ヨーロッパに拠点をもち、活動しております。現在、当社の営業子会社としてSANTEC EU（イギリス・オックスフォード）がありますが、より顧客に密着し、市場の情報を獲得することが当社のような開発型企業には重要なテーマであると考え、このたび、主要な光通信ベンダーが集中しているイタリア・ミラノに駐在員事務所を設立しました。（平成20年10月）

将来的には営業拠点に昇格させることも視野におき、イタリアをはじめとする南欧諸国の重要顧客を対象としたマーケティング活動を展開してまいります。



## 地域貢献活動を行っています

当社は愛知県小牧市を本拠地としておりますが、当社の事業活動は地域社会の皆様のご理解のうえに成り立っていると考えています。

全社員と周辺の皆様と合同で地域の清掃活動を行い、また、周辺の中学校から社会見学を受け入れるなどの活動を行ってまいりました。

地域の皆様との関わりを重視し、地域と共に繁栄していきたいと考え、これからも継続してまいります。

## OCT光源装置を医療機器メーカーにOEM供出

このたび、トーメーコーポレーション様（名古屋市西区）の眼科用画像診断装置：SS-1000に搭載されるOCTシステム専用光学エンジン：HSL-200の供給を本格的に開始しました。

SS-1000は波長走査型レーザ光源を搭載した波長走査型OCTシステムとしては世界初の医療用画像診断装置です。

当社は長年培った光通信の波長可変レーザの技術を医療用光源に応用し、世界最高速で波長を広帯域に走査するレーザ光源を開発。この光源技術とトーメーコーポレーション様の画像処理技術により、前眼部周辺の高精細な三次元断層画像をわずか約2秒という短時間で取得可能としました。

トーメーコーポレーション様は、9月にベルリンで行われたヨーロッパ白内障屈折手術学会（ESCRS）併設展示会でこの製品を正式発表。本診断装置は緑内障などの診断に不可欠ということであり、今後、眼科医療現場での活躍が期待されています。



### 注目集める 新製品TPR

トリプル・プレイ・レシーバTPRは、一般家庭まで光ファイバを引き込むFTTH（Fiber To The Home）サービスで用いられ、1本の光ファイバに、「電話」「インターネットなどのデータ通信」「テレビ映像」の3つの情報を乗せて送るトリプル・プレイサービスのコア部品として活躍しています。

従来技術では、光ファイバを通してきたテレビ映像信号を電気信号に置き換える際に、光信号における映像信号の分離（当社製TPF）と光→電気変換が個々の部品として独立していました。TPRはTPFとほぼ同サイズで一体化することで、家庭に設置される端末装置の小型化とトータルコストの低減に貢献しています。

## 第2四半期連結累計期間 財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位 千円)

	前第2四半期	当第2四半期	前 期
	H19.9.30現在	H20.9.30現在	H20.3.31現在
<b>資 産 の 部</b>			
流動資産	3,148,240	3,228,415	3,061,258
現金及び預金	1,009,338	1,270,601	1,200,310
受取手形及び売掛金	927,047	1,184,509	1,219,672
有価証券	699,721	50,466	28,985
たな卸資産	480,301	696,760	584,520
その他	31,833	26,079	27,771
固定資産	4,479,806	4,848,996	4,890,351
有形固定資産	4,171,427	4,079,202	4,112,884
建物及び構築物	2,389,489	2,256,855	2,319,706
機械装置及び運搬具	44,193	34,524	38,318
土地	1,620,220	1,618,952	1,618,952
その他	117,525	168,871	135,906
無形固定資産	69,856	66,145	66,591
投資その他の資産	238,522	703,648	710,875
投資有価証券	134,927	605,724	615,787
その他	103,595	97,924	95,088
資産合計	7,628,047	8,077,412	7,951,609

## 連結損益計算書 (6ヶ月)

(単位 千円)

	前第2四半期	当第2四半期	前 期
	H19.4.1~H19.9.30	H20.4.1~H20.9.30	H19.4.1~H20.3.31
売上高	1,517,462	2,160,543	3,833,852
売上原価	919,609	1,259,356	2,181,715
売上総利益	597,853	901,187	1,652,137
販売費及び一般管理費	596,196	675,214	1,201,954
営業利益	1,657	225,972	450,182
営業外収益	12,525	34,889	29,194
営業外費用	41,322	49,224	125,995
経常利益	△27,139	211,637	353,382
特別利益	1,525	—	1,566
特別損失	21,125	25	61,717
税金等調整前当期純利益 (または当期純損失)	△46,739	211,611	293,230
法人税等	12,310	3,261	13,142
当期純利益 (または純損失)	△59,050	208,350	280,088

(単位 千円)

	前第2四半期	当第2四半期	前 期
	H19.9.30現在	H20.9.30現在	H20.3.31現在
<b>負 債 の 部</b>			
流動負債	506,388	583,472	581,773
支払手形及び買掛金	318,080	381,902	387,786
その他	188,308	201,570	193,987
固定負債	297,286	361,480	333,632
退職給付引当金	158,872	172,044	173,058
役員退職慰労引当金	129,465	166,405	135,200
その他	8,949	23,031	25,374
負債合計	803,675	944,953	915,405
<b>純 資 産 の 部</b>			
株主資本	6,751,468	7,210,230	7,090,596
資本金	4,975,141	4,978,566	4,975,141
資本剰余金	1,206,059	1,209,465	1,206,059
利益剰余金	570,292	1,022,264	909,430
自己株式	△24	△65	△35
評価・換算差額等	72,903	△77,771	△54,392
その他有価証券評価差額金	5,041	△63,934	△41,883
為替換算調整勘定	67,862	△13,837	△12,508
純資産合計	6,824,371	7,132,459	7,036,204
負債純資産合計	7,628,047	8,077,412	7,951,609

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (6ヶ月)

(単位 千円)

	前第2四半期	当第2四半期	前 期
	H19.4.1~H19.9.30	H20.4.1~H20.9.30	H19.4.1~H20.3.31
営業活動による キャッシュ・フロー	89,142	243,876	268,251
投資活動による キャッシュ・フロー	△82,273	58,512	50,906
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,229	△89,523	△2,719
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△9,592	△21,092	△100,433
現金及び現金同等物の 増減額	△3,952	191,772	216,004
現金及び現金同等物の 期首残高	913,291	1,129,295	913,291
現金及び現金同等物の 期末残高	909,338	1,321,068	1,129,295

社名	santec株式会社（登記社名：サンテック株式会社）
英文社名	SANTEC CORPORATION
本店所在地	愛知県小牧市大字大草字年上坂5823番地
設立年月日	1979年8月25日
資本金	49億7,856万円
従業員数	134名（連結役員除く）
役員	代表取締役社長 鄭 台 鎬
	専務取締役 田 島 暎 治
	常務取締役 鄭 元 鎬
	常務取締役 女鹿田直之
	取締役 杉 本 伸 人
	常勤監査役 野 村 光 子
	監査役 梅 野 正 義
	監査役 川 上 進
	監査役 伊 東 和 男

（注）監査役梅野正義、川上進及び伊東和男は、社外監査役であります。  
（平成20年9月30日現在）



フォトニクスパレー大草キャンパス

SANTEC U.S.A. CORPORATION



SANTEC Europe Ltd.



聖徳科（上海）光通信有限公司



## グループ会社概要

**SANTEC U.S.A. CORPORATION** アメリカ、ニュージャージー  
設立：1985年11月 資本金：27,537千円 従業員：4名  
事業内容：北米地域への光通信用部品、光測定器の販売

**SANTEC Europe Ltd.** イギリス、オックスフォード  
設立：1998年8月 資本金：42,448千円 従業員：2名  
事業内容：欧州地域への光通信用部品、光測定器の販売

**聖徳科（上海）光通信有限公司** 中華人民共和国、上海市  
設立：2001年11月 資本金：48,110千円 従業員：3名  
事業内容：中国への光通信用部品、光測定器の販売  
（平成20年9月30日現在）

## 株主メモ

発行可能株式総数	37,755,200株
発行済株式の総数	11,961,100株
単元株式数	100株
株主数	3,050名
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときには、あらかじめ公告した日
配当金受領株主確定日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社  
連絡先:〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号  
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部  
フリーダイヤル:0120-78-2031  
取次所:中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

公告方法 電子公告  
当社ホームページ (<http://www2.santec-net.co.jp/about/relations.htm>) に掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 大阪証券取引所 ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」市場

証券コード 6777

### 株券電子化後の株式に関するお届け先及びご照会先について

平成21年1月5日から、株券電子化が実施されます。これに伴い、平成21年1月5日以降、以下のとおり手順のお申し出先が変更となります。

1. 未払配当金の支払のお申し出先：中央三井信託銀行（株主名簿管理人）
2. 住所変更・単元未満株式の買取のお申し出先
  - ①ほふり（証券保管振替機構）に株券を預けられている株主様：お取引証券会社等
  - ②ほふりに株券を預けられていない株主様：中央三井信託銀行（特別口座管理機関）  
中央三井信託銀行へのご連絡は上記株主名簿管理人と同じです。

**santec** 株式会社

IRグループ

〒485-0802 愛知県小牧市大字大草字年上坂5823番地

Tel.0568-79-3535

<http://www.santec-net.co.jp>

